学校番号	T3006

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２	年次	２
使用教科書	最新高等保健体育　（大修館書店　出版）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら、公正・協力・責任の姿勢を向上させるとともに、各個人が楽しく参加できること。
・各種目の特性に応じた運動技能を高め、スポーツの多様な楽しみ方を実践していくなかで自らや仲間の新たな発見ができること。

２ 学習の到達目標

・生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解し、目的に応じた技能を身に付けている。
・自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方を工夫するとともに、総合的に思考し判断してそれらを他者に伝えている。
・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決をめざして総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復および健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	受講態度の観察 技能 レポート ワークシート 等	集団時技能 ワークシート レポート 体育理論のテスト 等	受講態度の観察 技能観察 ワークシート レポート 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期	体つくり運動	オリエンテーション 体ほぐしの運動 新体力テスト	○	○	○	a:運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 b:ねらいに応じて健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立てるとともに、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:体つくり運動の楽しさや心地よさを味わうことができるよう、体力の違いに配慮しようとすること、自己の責任を果たそうとすることなど、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・技能テスト ・ワークシート ・レポート
	球技	バレーボール	○	○	○	a:各技能の向上につながる重要なポイントやゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントとなること、それらを高めるための安全で合理的な練習の仕方があることを理解している。 b:チームや自己の課題に応じた運動の取り組みを工夫している。また、仲間と連携した「拾う、つなぐ、打つ」などの一連の流れで攻撃を組み立てることを身に着けている。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・集団技能の観察 ・技能テスト ・ワークシート ・レポート
		テニス	○	○	○	a:各技能の向上につながる重要なポイントやゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントとなること、それらを高めるための安全で合理的な練習の仕方があることを理解している。 b:自己やチームの課題に応じた運動の取り組みを工夫している。また、ダブルス特有の戦術を仲間と組み立て、攻防の中にいかしている。 c:勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・技能テスト ・ワークシート ・レポート

前期	水泳	水泳 背泳ぎ 平泳ぎ	○	○	○	a:水泳の特性に応じた、効率的な泳法を身に付け、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動の方法を理解している。 b:生涯にわたって水泳を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 c:水泳の楽しさや喜びを味わうことができるように勝敗を冷静に受け止め、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など、健康や安全を確保して、主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・技能観察 ・技能テスト ・ワークシート ・レポート
	球技	バスケットボール	○	○	○	a：パスやシュートなどの技能に加えゲームのルールなどの試合方法、運営の仕方に応じた行動の仕方などを理解している。 b：運動の行い方、仲間と教え合うなどの活動の仕方、健康・安全の確保、運動の継続の方法などのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて運動を継続するために、学習場面で工夫したり、応用したりしている。 c：仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、ゴール前の空間を作り出したりして攻防を展開することを身に着けている。また勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・集団技能の観察 ・技能観察 ・技能テスト ・ワークシート ・レポート
後期	球技	バドミントン	○	○	○	a：自己やチームの課題に応じた運動の取り組みを工夫し、ダブルス特有の戦術を仲間と立て、攻防の中にいかしている。また、ゲームのルール、トーナメントやリーグ戦などの試合方法、運営の仕方に応じた行動の仕方などを理解している。 b：運動の行い方、仲間と教え合うなどの活動の仕方、健康・安全の確保、運動の継続の方法などのこれまでの学習した内容をもとに、自己や仲間の課題に応じて運動を継続するために、学習場面で工夫したり、応用したりしている。 c：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・技能観察 ・技能テスト ・ワークシート ・レポート

後期	球技	サッカー	○	○	○	a：パスやシュートなどの技能に加えゲームのルールなどの試合方法、運営の仕方に応じた行動の仕方などを理解している。 b：自己やチームの課題に応じた運動の取り組みを工夫し、安定したボール操作と空間を作りだすなどの連携した動きによってゴール前の侵入などから攻防を展開することを身に着けている。 c：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・集団技能の観察 ・技能観察 ・ワークシート ・レポート
	ダンス	現代的なリズムのダンス	○	○	○	a:技術やダンスの名称、用語、表現の仕方など、体力の高め方、運動の仕方を理解している。 b：リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりをつけてリズムに乗って全身で踊ることを仲間と工夫しようとする。 c：感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを深めた表現や踊りを通した交流や発表をすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・技能観察 ・ワークシート ・レポート
	球技	卓球	○	○	○	a：各技能の向上につながる重要なポイントやゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントとなること、それらを高めるための安全で合理的な練習の仕方があることを理解している。 b：自己やチームの課題に応じた運動の取り組みを工夫している。また、ダブルス特有の戦術を仲間と組み立て、攻防の中にいかしている。 c：勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームが展開できるようにすることに主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・技能観察 ・ワークシート ・レポート

後期	体育理論	【運動・スポーツの学び方】スポーツの技術と技能 技能の上達過程と練習 技能と体力 体力トレーニング 運動・スポーツにおける安全の確保	○	○	○	a：生涯にわたって運動やスポーツを継続するためには、特徴に応じた学習の仕方があることや技能を高めるためにはどのように取り組むのか、健康・安全をどのように確保するのかなどの学習の仕方について理解している。 b：運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分類したり、まとめたりしそれらを他者に伝えたり説明している。 c：各ライフステージでの体力トレーニング、運動・スポーツにおける安全の確保や計画設定について、意見交換や自身の考えを発表するなどの活動を通して、学習に主体的に取り組もうとしている。	・受講態度の観察 ・ワークシート ・レポート

※　表中の観点について　a：知識・技能
b：思考・判断・表現力
c：主体的に取り組む態度

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。